第六十六話 令和二年 三月八日

【沼津兵学校<七> 静岡バンド】

ご先祖さんが沼津兵学校と縁{ゆかり} あった拙者にとって
【沼津兵学校】は 語っておかねばならぬ明治維新の一隅である。

キリスト教解禁でクリスチャンになった有名な御仁に新渡戸稲造、内村鑑三がいる。

二人とも生まれたときは武士の子。新渡戸稲造は盛岡藩士の子。内村鑑三は高崎藩士の子。沼津兵学校生徒と同じ。佐幕派<負け組>である。

明治のキリスト教史を語るとき、と云ってもプロテスタント史であるが、必ず引用される言葉がある。

「精神的革命は時代の陰 {かげ} より出づ」

山路愛山 {やまじあいざん} の言葉である。

山路愛山、曰く。

「明治のキリスト教界の指導者的人物には、旧幕臣や会津藩士といった維新に敗れた佐幕派側の者が多い」

そんな山路も彰義隊で上野戦争を戦う。その後、函館戦争に従軍する。降伏し捕虜に。釈放後、祖父母とともに静岡藩に移った。

愛山の号は「愛鷹山」から。富士山南隣にある標高一五〇〇メートル。日本二百名山の一つ。隠居した家康が鷹狩りを愉しんだ。最後の徳川幕府征夷大將軍も引退後、愛鷹山での鷹狩りで暇潰しした。

沼津兵学校の本校とも云うべき静岡学問所にアメリカ人教師が招かれ、日本で最初にプロテスタントの種が蒔かれた。後任のカナダ人教師の感化により、十一名の受洗者がでる。明治七年のこと。

静岡の信者の中から伝道活動に励み、牧師になるものもいた。いつしか明治キリスト教会の中で地位を占め、横浜・熊本・札幌で生まれた一団と並び、「静岡バンド」と呼ばれた。

沼津兵学校の人脈も静岡バンドの一角を形成する。

沼津兵学校附属小学校の後身、沼津中学校に英語教師として来たカナダ人宣教師により校長江原素六、教師中川喜重、末吉沢郎らが洗礼を受けた。

牧師になった者もいた。浅川広湖 {ひろみ}。浅川は甲州出身の結城無二三 {むにぞう} を受洗させ、山梨県と静岡県を結ぶカナダ・メソジスト教会の興隆地とした。

結城は甲陽鎮撫隊（新撰組）で参戦後、沼津兵学校附属小学校に入学。

幕府御家人の子で資業生だった島田三郎は、衆議院議員として連続十四回当選、副議長、議長を務めた。廃娼運動、足尾鉍毒被害者救済運動に奔走。

政界とキリスト教界をつなぐ名士となった江原素六、島田三郎の二人は、沼津兵学校の在野精神を象徴している。